

ご挨拶



関東ゴルフ会員権取引業協同組合
理事長 大塚 重昭

関東ゴルフ会員権取引業協同組合は本年7月24日をもって創立40周年を迎えることとなりました。この栄えある40周年の記念日を迎えるにあたり、組合員各位をはじめ大変多くの関係者各位の多大なるご指導ご鞭撻に対し深く感謝申し上げます。

昭和46年7月にゴルフ会員権取引業の生みの親である故竹花福太郎氏を理事長に擁し、関東ゴルフ会員権取引業協会として会員31社により設立され、その後、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合として関東ゴルフ会員権取引業協同組合へ発展を遂げました。今や組合員数約200社を擁するゴルフ会員権取引業団体としては最大の団体となっております。

現在も諸先輩たちが築き上げてきた発足当初からの旗印である「ゴルフ会員権の安全で円滑なる流通」「公正なる取引による業界の信用と地位の高揚」「ゴルフ産業界に於ける共存共栄」等の精神は、関係者各位のご協力を賜りながら脈々と受け継がれております。そしてその精神は今後も変わらずゴルフ場関係各位と手を携えながらゴルフ業界発展に寄与すべく邁進して参る所存です。

この40年史は前回の20年史から20年ぶりに上梓したものです。思い起こせば20年前はバブル崩壊直後であり、従ってこの間の20年はほぼ不況一色の時代でありました。わが会員権業界はその厳しい荒波を受け続けてきた最たる業種のひとつといっても過言ではありません。当時は想定もできなかったゴルフ場の法的整理が平成3年以降だけでも約800コースにのぼり、市場も大変な混乱を呈しました。

このような時代背景の中で、インターネットの急速な普及に伴い社会経済の仕組みそのものが大きな変化を遂げてきました。当組合も事業の柱であり組合員の財産である売買情報のコンピュータ化と技術の改善向上に努めて参りました。厳しい状況の中でも組合員各位のご協力があったの賜物と改めて御礼を申し上げる次第です。

40年にわたり関東ゴルフ会員権取引業協同組合を叱咤激励し支えて下さいました皆様方に対し、改めて心より感謝を申し上げますとともに、今後とも当組合並びに組合員への変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶と致します。